

ITERS - 3 日本語訳の出版に寄せて

ITERSの第3版であるITERS-3が埋橋玲子博士によって翻訳され、出版されることは私にとって大きな喜びです。

博士は、日本での研究・保育者養成に従事するのみならず、International ECERS Network（保育環境評価スケール国際ネットワーク）に積極的に参加し、多大な貢献をしてきました。このネットワークは、保育環境評価スケールを用いて乳幼児期の教育とケアに関する教育や研究を行う人々によって組織され、主にヨーロッパで年1回研究集会が開かれます。評価スケールの著者らもそのメンバーです。

誕生から3歳までの子どもに質の高い集団保育の場を提供するのは、大変な挑戦を要することです。保育の場が安全であり、成長著しいこの時期の子どもに適切な身体的環境を与えるだけではなく、保育者は子どものニーズに速やかに応じ、社会的/情緒的、言語、知的能力の発達を導かなくてはなりません。ITERS-3の項目観察を行うことで、子どもと保育者の相互関係がどのようなものであるかについて、遊びと学びのための物的環境とともに、保育の質を見定めていくことができます。

このITERS-3が『新・保育環境評価スケール②0・1・2歳』として訳出されることを、他の3人の著者、デビィ・クレア博士、リチャード M. クリフォード博士、ノリーン・イエゼジアン博士とともにうれしく思います。今後、ECERS-3（日本語訳『新・保育環境評価スケール①3歳以上』）とともに、日本の幼児教育・保育に従事する方々、研究者の方々により活用されることにより、日本の乳幼児期の教育とケアの質の向上に役立つことを期待しています。

2018年3月

テルマ・ハームス（博士）